

障がい学生支援に関する教職員向け研修会

聴覚障がいの理解と手話

主催： 障がい学生支援室

共催： 学修支援・教育開発センター
Ryukoku Extension Center

障がい学生支援室では、障がい学生支援について広く大学全体で共有することを目的として、教職員向けの研修会等を毎年開催しています。

今回は、今年 4 月に連携協力に関する協定を締結した、社会福祉法人全国手話研修センターの協力を得て、聴覚障がいの理解や手話をテーマに研修会を実施します。

手話は、2006 年に国連で採択された「障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）」においても、「言語」として明記されています。今や、「手話の公用語化」は世界的潮流ともいわれます。

“龍谷大学”は手話でどのように表現するのか!? 実技も取り入れてわかりやすく解説しますので、お気軽にご参加ください。

【講師】

社会福祉法人 全国手話研修センター

常務理事 小出 新一 氏、日本手話研究所 手話総合資料室 高塚 稔 氏

【内容】

- ①聴覚に障がいのある学生の修学支援の現状と課題（10 分）
- ②聴覚障がいと情報保障について、手話言語とは、「手話」とろう者のこれまでの歩み、手話実技、質疑応答（75 分）

【対象】 本学教職員

【日時・会場】

深草キャンパス

2019 年

10 月 30 日（水）

15:00～16:30

22 号館 107 教室

【申込・問い合わせ】

shien@ad.ryukoku.ac.jp

障がい学生支援室（深草）

TEL：075-645-5685（内線 1141）

資料準備の都合上、前日までに申込みをお願いいたします。